

儲けの仕組みを明らかにする原価計算と管理会計の基礎知識 ～モノやコトの原価がわかれば、儲けの仕組みが見えてくる～

ねらい

売上の伸びが期待できなくなっている不透明な経済環境のなかで、収益性を改善する王道は、原価のしくみを把握し、マネジメントしていくことです。そのためには、企業は原価を把握することが第一になります。現状を把握してこそ具体的でかつ効果的な打ち手が打てるからです。この現状の原価構造を把握するにあたって大きな役割を果たすのが原価計算の知識です。原価を計算して、現状を把握し、それを原価管理に応用していくことが利益を獲得できる近道となります。原価計算というと製造業のイメージがありますが、サービス業、システム会社、小売卸売業等すべての業界にとって原価の把握は必要な知識です。

この講座では、原価計算の基本からコスト構造の把握方法を学ぶと同時に、現在の原価計算方法の大きな欠点を理解していただき、原価計算のクセを学んでいただきます。そして、会社の儲けを出すための管理会計の基礎知識を合わせて学んでいただきます。

経理だけでなく、営業や事業企画など幅広い部門で活用いただけるよう、基本事項からていねいに解説します。皆様のご参加をお待ちしております。

<プログラム案>

1. モノやコトの原価がわかると何が良いのか

- ・原価を把握していない経営はどのような状況になるのか
- ・会社の活動の基本は 売上－原価＝利益
- ・原価とは一体何か
 - 【事例研究1】A社の販売する商品Aの原価はいくらか？
- ・損益計算書と原価の関係
- ・原価計算と管理会計は似て非なるもの
- ・働き方改革における残業時間の削減と管理会計は必ずセット

2. 原価計算の基本

- ・原価計算は製造業だけではなくすべての業種で実践できる。
- ・身近な事業で原価計算をやってみよう
 - 【事例研究2】ラーメンの原価計算をやってみよう
 - 【事例研究3】美容院の原価計算をやってみよう
- ・注文生産と大量生産で原価計算のやりかたは異なる
 - 【事例研究4】注文生産と大量生産における原価計算
- ・正確な原価を計算しないと誤った経営判断をしてしまう。
 - 【事例研究5】外注はコストダウンにつながらない？
- ・原価計算をやるためには原価を種類別に分ける必要がある
 - 【分け方1】材料費、労務費、経費の分類
 - 【分け方2】製造直接費と製造間接費の分類
 - 【分け方3】変動費と固定費の分類
- ・現在の原価計算方法には大きな欠点がある
 - 【事例研究5】売上が同じでも利益は変わる不思議
 - 【事例研究6】在庫が変動すると利益が変わる

- ・ 計算するための原価計算と管理をするための原価計算は違う

3. 注文をうけて製造するB社の実際の原価計算の流れ

ステップ1 材料費の計算方法

- ・ 材料と材料費は全く違うもの
- ・ 材料費の計算は $\text{材料費} = \text{単価} \times \text{消費量}$

【計算事例】材料費の計算の手順

ステップ2 労務費の計算方法

- ・ 勤務時間は内訳が大事になる
- ・ 労務費の計算は $\text{労務費} = \text{賃率} \times \text{作業時間}$

【計算事例】労務費の計算の手順

ステップ3 経費の計算方法

- ・ 経費にはどのようなものがあるか
- ・ 経費の計算は $\text{経費} = \text{発生額}$ もしくは 支払額

【計算事例】経費の計算の手順

- ・ 外注の目的はコストダウンではない？

ステップ4 製造間接費の計算方法

- ・ 製造間接費とは何か
- ・ 身近な事例で見る製造間接費の計算のポイント

【計算事例】製造間接費の計算手順

ステップ5 注文ごとに原価を計算していく

- ・ 製品別原価計算の計算方法

【計算事例】注文ごとに行う原価計算

4. 大量生産をするC社の原価計算の流れ

ステップ1 材料費の計算方法

- ・ 材料費は投入時点がポイントになる

【計算事例】材料費の計算の手順

ステップ2 加工費の計算方法

- ・ 加工費の範囲とは
- ・ 加工作業の進み具合がポイントになる

【計算事例】加工費の計算手順

ステップ3 製品ごとに原価を計算していく

- ・ 製品別原価計算の計算方法

【計算事例】製品ごとに行う原価計算

5. 管理会計の基本

- ・ 管理会計の基本式

$$\text{単価} \times \text{数量} = \text{原価}$$

- ・ 管理会計は無駄の発見からはじまる
- ・ 管理会計を導入する際のポイント

以上